

Sciences Po DD 報告会用レポート

① 留学に至った経緯

将来国際機関もしくは国際的な舞台で活躍するために、海外大学院で勉強をしておくこと、学位をとること、国際機関でインターンをすることは重要であると感じていたため（個人的なスケジュールの事情のため、インターンは行わなかった）。

② 留学で学んだこと

具体的には、専門性（統計学・計量経済学）、英語でのディスカッション能力、フランス語、において大いに成長できた。シアンスポは、授業のディスカッションの質や生徒の意識がとて高く、授業面・生活面共にとても刺激的な一年であった。フランスの立地を活かして、長期休みには友人と旅行に出かけたりもした。フランスはバカンスに対する意識がとて強く、教育機関においてもバカンスが充実しておりメリハリが良いので、生活面でもとても充実した一年を送ることができた。

③ 応募にあたってのアドバイス・日本ですべきこと

留学の質は、事前準備で大きく左右される。特に、英語圏以外に留学される方でその言語にも興味のある方は、しっかりと日本にいる間に使用できるレベルにまで語学力を向上させておくと生活面でも当該大学内での過ごし方も有意義に過ごせる。後は、留学に行く目的は人それぞれなので一般的なアドバイスはあまりできないが、東京大学公共政策と提携している大学院（シアンスポに限らず）には世界中から高い目標と能力を持った学生が集ってくるので、ぜひこの機会を十分に活かすべきだと思う。

質問→（メールアドレス： kojiinoue05@gmail.com）